



遊水地 について知ろう



Q 「遊水地」って知っていますか？

洪水時に川の水を一時的に貯め込むことにより、洪水のピーク流量を減少させて川の水位を下げる役割を果たす施設です。貯めた水は、川の水位が下がった後に川に戻します。

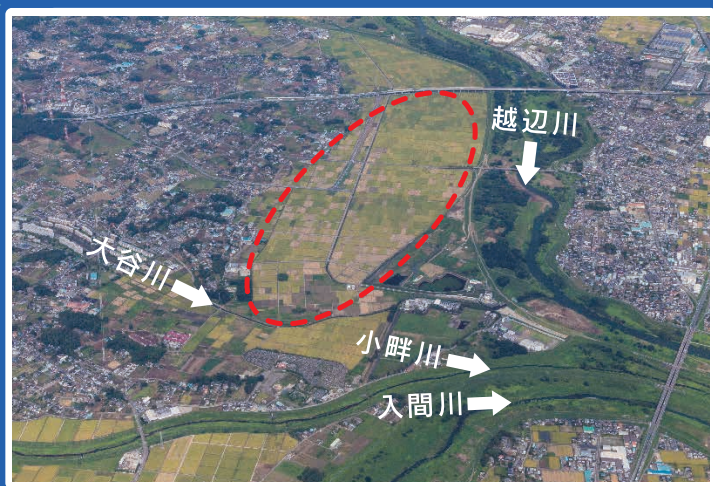
遊水地のしくみは裏面へ！ ➡

プロジェクト整備箇所



台風 19 号で堤防決壊など大きな被害のあった都幾川や越辺川周辺エリアでは、再び同じ洪水が起きても川の水が安全に流れるよう、堤防整備や河道掘削に加えて、河川が合流する 2 か所で遊水地の整備が進められています。

埼玉県が管理する葛川、飯盛川、九十九川でも同様に洪水を一時的に貯留する施設を整備する予定であり、流域全体で被害軽減を目指しています。



本プロジェクトで推進中の越辺川、都幾川の築堤工事、河道掘削工事については、早期整備を目指し鋭意施工中です。

大雨や台風で威力を発揮！地域の安全を守る“遊水地”！

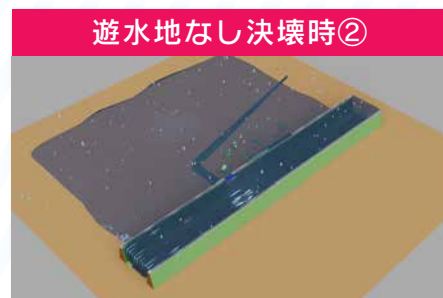
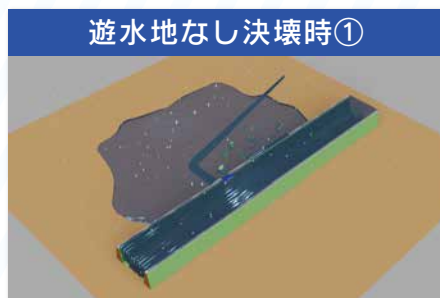
洪水時に川の水を一時的に貯め込むことにより
洪水調整を行い川の水位の上昇を抑えます。



□ 遊水地のしくみ

遊水地が無いと・・・

大雨が降ると雨水が川に流れ込み、
川の水位が高くなります。
川の水位が堤防の高さを越えると
堤防が壊れ、周辺に川の水が流れ込み、
浸水被害が広がってしまうおそれがあります。

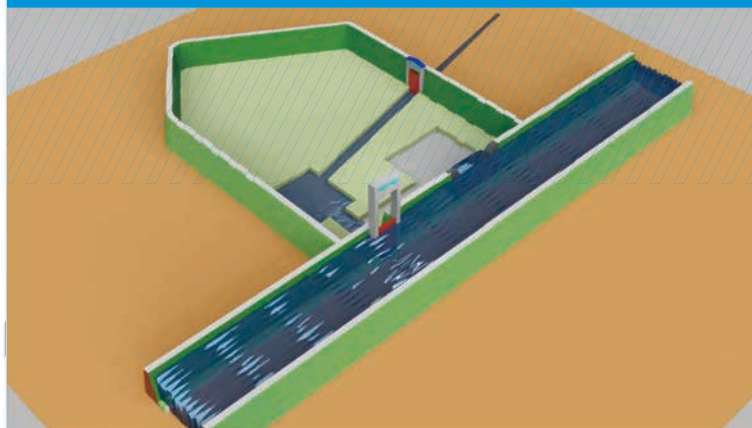


遊水地があれば！

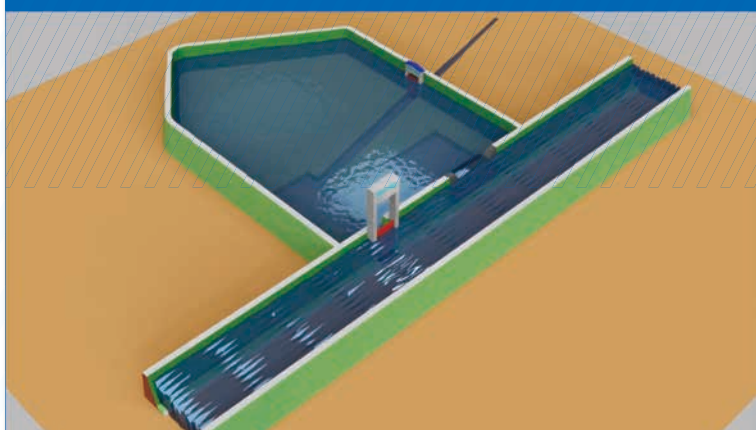
1 川の水位が上昇



2 遊水地へ水が逆流しないように水門を閉鎖



3 越流堤から遊水地に水をため、川の水位の上昇を抑える



4 河川の水位が下がったらすみやかに水門を開け、通常時に戻す

